

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農産園芸課長 森上 浩平	電話番号	0852-22-5123
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	農業復旧対策事業		
目的	(1) 対象	自然災害により所有する農業生産施設等が被災した農業者等	
	(2) 意図	早期に施設等を復旧することにより農業生産活動への影響を最小限にとどめ、農業生産の安定を図る。	
事業概要	自然災害の発生により地域の農業被害額が一定金額以上になった場合、速やかに被災農業者の生産基盤などを復旧するために、農業者に対して、一定の復旧を支援する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	復旧率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	施設等の復旧面積 / 該当災害での施設等被害面積	目標値		100.00	100.00	
			実績値	41.90	19.80	0.00	26.50		%
			達成率		19.80	0.00	26.50		%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
									目標値
		実績値	0.00	0.00	0.00	0.00		%	
		達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	9,728	332,715
うち一般財源 (千円)	9,728	332,715

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 平成26年12月に吾智郡を中心に大雪による農業災害が発生し、吾南町など4市5町の農業生産基盤の復旧を支援中である。
- 一部復旧支援については、各市町予算措置の事情などにより、平成27年度に予算を繰越して実施する。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 野菜栽培用を中心に約7,600m²のハイブハウスが復旧されている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
 - 災害前の面積までには復旧しない見込み。
- ②困っている状況が発生している「原因」
 - 生産者の高齢化と後継者不足による離農が発生している。
- ③原因を解消するための「課題」
 - 後継者確保のための農業振興策と一体的に復旧支援を実施する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 災害発生時に農業振興策と一体的に復旧支援が行えるよう、事前に関係部署との調整、検討を行う。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）